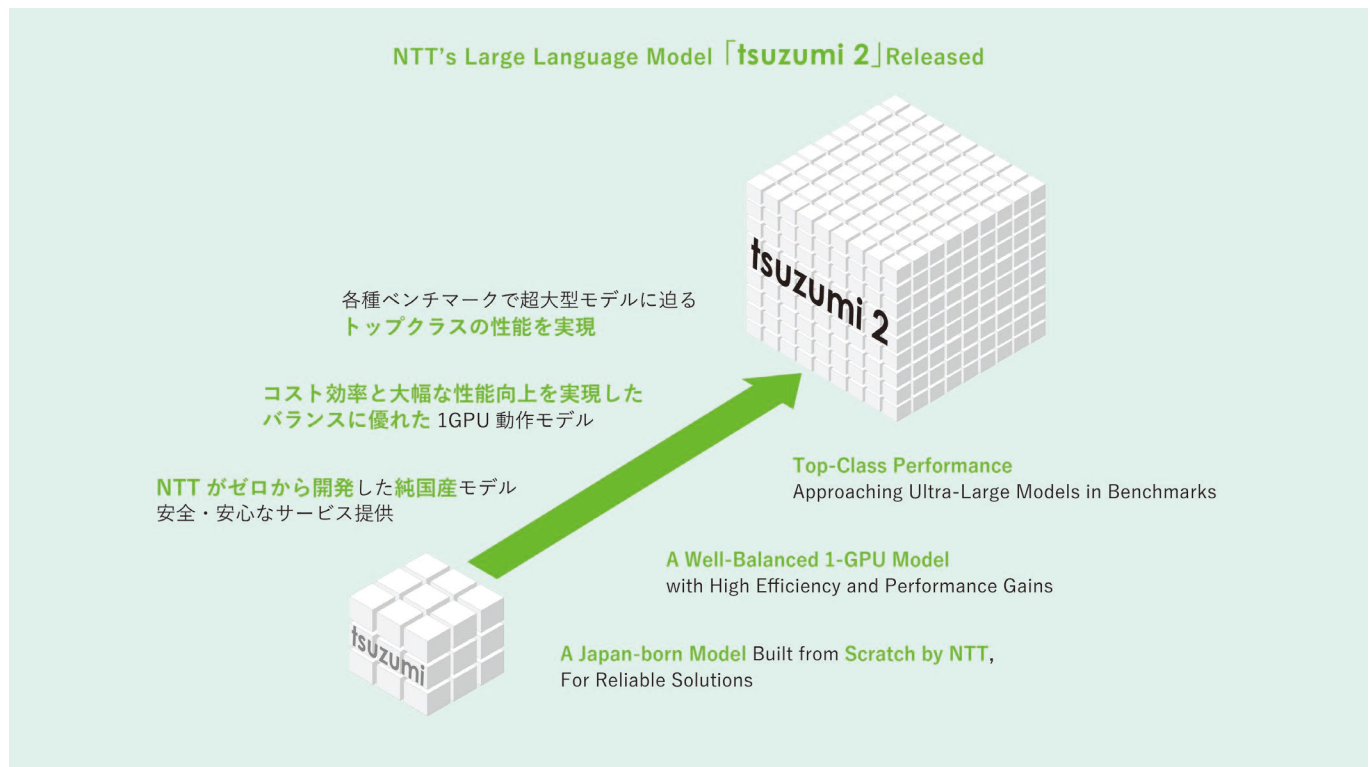


性能が大幅に向上！人・システム・AIが協働する世界をめざします 進化する大規模言語モデルtsuzumi

背景 – 技術課題

AIは大量の情報を一所に集約することでその力を発揮します。しかし、ビジネスシーンでは情報は部署やシステム単位で管理され、場合によっては人の頭の中にあたりと、情報を集約すること自体が難しい状況です。そのためAIの力を活かしきれずにいます。



研究目標 – 成果

tsuzumiが部署やシステムの垣根を越えて情報を収集・分析し、人に伝搬することで、組織の力を引き上げます。

技術ポイント

01 要素技術

- 純国産小型モデルで高い日本語性能とコスト効率を実現するLLM構築技術
- 社員とチャットを行い、システム検索では得られない知見を獲得し応答する対人問い合わせ機能

02 市中技術差異点

コンパクトで高性能なLLMにより、イントラネットAPIなどの業務データを活用した高度なAI推論をオンプレで実現。機密情報を外部へ送信せず安全に活用可能。純国産LLMが人とAIの安全な協働基盤を提供

利用シーン マルチインダストリー

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
NTT株式会社 人間情報研究所

【問い合わせ先】
思考処理研究プロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
—

【関連Link】
https://www.rd.ntt/research/LLM_tsuzumi.html